

PLAN	No.	45	—	1	基本事務事業名	勤労青少年ホーム施設管理事業	事務事業名	勤労青少年ホーム施設管理事業	公的関与	4	シート作成日	令和元年7月5日			
	部局名	教育委員会			課名	公民館		主務課長名	伊坂 好史		シート作成者名	日岡 辰年			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 人が輝き合う阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3)生涯学習の充実				☒ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☐ 期間設定なし
		主要施策		(5)特色ある生涯学習プログラムの整備・提供				☐ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内に在住する青少年及び、市内の事業所に勤務する青少年											
		目的(どうい う状態にし たいのか)		最終的	勤労青少年の日常の援助と福祉の増進を図るため、一般教養講習会・グループ活動等効率的に行える維持管理を図ります。										
				今年度	勤労青少年の日常の援助と福祉の増進を図るため、一般教養講習会・グループ活動等効率的に行える維持管理を図ります。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 維持管理業務(電気保安・防火設備・浄化槽設備点検・清掃業務)														
	② 施設管理(貸出業務・夜間の利用)														
	③ 各種スポーツクラブ・文化活動等の運営														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標					
						目標	250	250	250						
						実績	240	240							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	款				項	目							
			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	備考									
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	1,496 千円		1,739 千円		2,801 千円								
		計(A)	1,496 千円		1,739 千円		2,801 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
		臨時・嘱託職種	勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員		勤労青少年ホーム指導員								
		臨時・嘱託工数・経費	0.360 人	648 千円	0.950 人	1,710 千円	0.950 人	1,710 千円							
	全体事業費(A+B)		2,144 千円		3,449 千円		4,511 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	施設は、市内に一カ所しかなく、地域に根差した若者の育成の場としてのニーズは高いといえます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	各教室、クラブ、同好会、講座、ボランティア活動、各種研修会等が有効活用しています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	一般教養としての教室、グループ活動、クラブ等の事業が計画どおり実施され、参加者においても目標を達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	働く青少年のための余暇活動のみならずニート対策等若者を取り巻く問題に対応できます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止				☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	施設の老朽化や耐震整備が等ができていない状況である。今後整備していく必要があります。				二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	施設の修繕等を計画的に行う必要があります。				合理的・経済的な運営、また、施設の長寿命化に向けた維持管理を目指した取り組みを進めます。					
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	45	—	2	基本事務事業名	公民館施設管理運営事業	事務事業名	公民館施設管理運営事業	公的関与	6	シート作成日	令和元年7月5日				
	部局名	教育委員会			課名	公民館	主務課長名	伊坂 好史		シート作成者名	日岡 辰年					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策) 該当なし					実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)					☒ 1 該当		平成		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策					☐ 2 非該当		根拠法令等							
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市民													
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。												
			今年度	地域生涯学習の拠点として、利用者が安全で快適に活動できるように維持管理を図ります。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 消防設備の点検															
	② 電気の保安業務															
	③ 施設管理(浄化槽の清掃点検業務・全館清掃業務)															
	④ 施設運営(日常の公民館の貸出業務)															
	⑤ 公民館職員は8名(林・伊沢・久勝・大俣・市場・八幡・土成・吉野中央)条例記載の公民館は12館ある。															
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 29 年度	平成 30 年度	令和 1 年度	最終目標						
	開館日数		年間日数(年末年始を除く)		日	目標	359	359	359							
						実績										
						目標										
						実績										
						目標										
						実績										
DO	予算費目	会 計	款				項			目						
			平成 29 年度決算	平成 30 年度決算	令和 1 年度予算	備考										
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円	千円										
		県支出金	千円		千円	千円										
		地方債	千円		千円	20,800 千円										
		その他特定財源	809 千円		250 千円	848 千円										
		一般財源	23,112 千円		23,932 千円	19,523 千円										
		計(A)	23,921 千円		24,182 千円	41,171 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円								
		臨時・嘱託職種	公民館指導員		公民館指導員		公民館指導員									
		臨時・嘱託工数・経費	8.000 人	14,400 千円	8.000 人	14,400 千円	8.000 人	14,400 千円								
	全体事業費(A+B)		38,321 千円		38,582 千円	55,571 千円										

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価				
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	地域住民の活動拠点としては無くてはならない存在です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	各々のクラブ等がニーズに合わせて利用しているので有効性はあります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	年間を通じて利用されています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	ほぼ毎日施設が、効率よく利用されています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	避難所の指定を受けている公民館もあるが、各館とも老朽化しており、維持管理に苦慮しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	各施設の現状を把握し、優先順位等精査しながら耐震改修を計画します。					施設の必要性・有効性は理解できる。今後施設の長寿命化に向けて計画的に維持管理業務を進めます。				
	委員会指摘事項										